

次年度の一般会計予算 編成について



質問者
菅谷 一夫 議員

総合計画21は、定住化策を重点施策と位置付けた「まちづくり」戦略のもとに立案されており、

次年度はそれぞれの施策事業の評価等をコスト面だけでなく、事業の効果こそが重要であると考えますので、次の点を町長に伺います。

- ① 少子・高齢社会とデフレ経済のもと、本町の税収は義務的経費との比較が異例の状態であると考えております。町長の認識は。
- ② まちづくり戦略事業である「良好な住宅地の整備促進事業」の推進状況は。
- ③ 南口駅前広場等の整備、及び接道整備、北口の地区計画の導入に向けた検討期限が、26

年度としておりますが事業実施の進捗状況は。



定住化対策は
まちづくりから
回答（町長）

- ① 町税の根幹である個人町民税は、所得の減少や固定資産税の評価替え等により、全体では減額傾向にある。義務的経費は、子ども手当の財源や小児医療費助成・少子高齢化に伴う負担・臨時財政対策債（注）の償還等で増えている。財政の硬直化を招かないため



旧砂利線跡地

に、経常経費の削減に努めている。

- ② 「住宅取得促進奨励金制度」を立ち上げる一方、遊休町有地の旧砂利線跡地を、民活による宅地開発や周辺整備を行うために、24年度から準備を進め定住化を図っていく。
- ③ 南口の残事業は、県道との交差点・駅前

広場の整備・エレベーター設置等である。また、北口の地区計画関連地内の地権者等を対象とした説明会を、23年度内に開催予定である。

注：臨時財政対策債 地方の一般財源の不足を補うために、特例として発行される地方債。必要に応じて、償還費用は全額、国が負担する。

人口増の為の住宅対策や 駅前基盤整備について



質問者
齋藤 永 議員

駅周辺の整備や住宅対策を目的に人口増を狙っているが、なかなか増えない人口に、買物をするスーパーさえも出店しない町になっていきます。こ

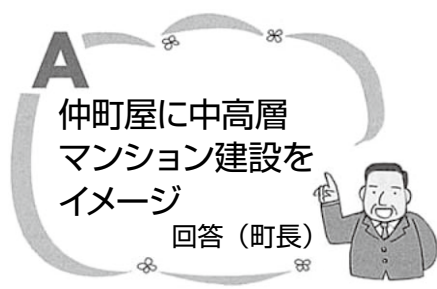
- ① JR駅前臨時駐車場や仲町屋臨時駐車場



仲町屋臨時駐車場

は、平面利用の低利用地のため、人口増を目的に中堅所得者向け住宅を整備するお考えは。

- ② 町の顔である新松田駅北口整備のため、地権者等で編成する「新松田再編研究会」との調整は、どのようになっていますか。



仲町屋に中高層
マンション建設を
イメージ
回答（町長）

- ① JR駅前臨時駐車場は、開発要件で本格的な進入路整備が必要な

ので、住宅地だけでなく公共施設用地として活用しよう。

仲町屋臨時駐車場は、周辺道路を整備し民活による中高層マンションの建設をイメージしている。そのためには、町営住宅の再編を先行する必要がある。籠場の家畜保健所跡地に町営住宅を建設して、受け皿としたい。

- ② 新松田再編研究会と新松田自治会・役場建設課を中心に、「新松田駅北口再編準備会」を設立するため、要綱制定に向け調整している。必要に応じて、県や警察・公共交通事業者等の出席を要請し、2ヶ月に1回程度の会議を予定している。